

第17回 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ 議事録（要録版）

日時 2014年7月18日（金） 9時00分～12時30分

場所 三菱重工品川ビル 3階 306会議室

出席者（敬称略，順不同）

主査：池田泰久（東工大）

副主査：村松 健（東京都市大）

幹事：阿部 仁（JAEA），浅沼徳子（東海大）（記）

委員：青柳春樹（JNFL），清水武範（JAEA），平野光将（電中研），眞部文聡（MHI），吉田一雄（JAEA）

オブザーバ：久野祐輔（JAEA/東大），松岡伸吾（JNFL）

配付資料

- 議事次第，核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究WG メンバー出欠
- 日本原子力学会再処理・リサイクル部会 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ報告書「核燃料サイクル施設におけるシビアアクシデントの選定方法と課題」（仮題）ドラフト作成作業ファイルV16.2（2014.07.16）（メール配信済み・各自持参）
- 「図 2.1 シビアアクシデントの選定手順」修正案（A案及びB案）
- 実効線量について
- 未対応部分修正案
- 「付録 A 発電用原子炉施設に関する確率論的リスク評価手法の開発と活用の経緯」修正案
- 「図 3.2 対応を検討すべきシビアアクシデントの選定の基準の概念」修正案

議事概要

1. 主査挨拶の後，各自持参いただいた報告書案（2014.07.16版）に，各委員から寄せられた意見や修正案が示されていることが説明された。これに基づき，該当箇所を確認及び審議し，その結果を反映したものを報告書の最終案とする説明があった。

2. 報告書ドラフトについて

配付資料に基づき，修正箇所の確認及び審議を行った。主要な点は下記のとおり。

- シビアアクシデントの選定手順を示す図 2.1 について，既に実施済みのアクシデントマネジメント策を考慮しない場合（A案）と考慮する場合（B案）を明確に示すべきとの意見があり，審議の結果，B案を採用することとなった。
- 選定手順を示す図 2.1（B案）と「図 3.2 対応を検討すべきシビアアクシデントの選定の基準の概念」における表現を対応させ，「3.3 WG での検討」において，その具体的内容が理解できるよう，文章にて表現することとなった。

3. 今後の予定

確認及び審議の結果を反映した報告書の最終案を、7/22～23を目標にメール配信する。なお、8月6日の再処理・リサイクル部会拡大運営小委員会において、本報告書の説明を行い、承認を得る予定。

以上